

各話の解説

タイトル	解説
第1話 「みつけたよ」	自然や日常の事柄に対する、発見をテーマにしたお話です。何かに注目し、気づきを得る瞬間というのは、ことばの習得の大きなチャンスです。印象に残った対象と、その名称は、強い結びつきで定着します。子どもに、たくさんの発見の機会があればと思います。
第2話 「いくつか」	数をテーマとした短文です。第1文に、主題(設定)、第2文に、数量変化の原因、第3文に、変化の結果が示されています。これは、算数文章題の基本形式であり、文章題への導入としての狙いがあります。具体的な表現を通して問われる、数の抽象性に気づいてもらえればと思います。
第3話 「かいてんずし」	子どもが大好きな回転寿司をテーマとしたお話です。最近の回転寿司は、メニューが豊富でびっくりします。タコやマグロなど海の魚の語彙は、まずお寿司を通して覚える子どもも多いようです。自分の経験をふまえて、文からイメージを思い浮かべてもらえればと思います。
第4話 「きらきら」	オノマトペ(擬態語・擬音語)をテーマとしたお話です。全部で10のオノマトペが、各話のテーマとして設定されています。オノマトペは子どもにとって、親しみ深いものですが、他者との共通感覚を形成していくために、欠かすことのできない大切な言葉です。
第5話 「ねこのカメラ」	カメラを手に入れたネコが、写真を撮りに行くお話です。動物たちが、次々にネコの前に現れ、繰り返し形式で、物語は進みます。ネコは、撮りたいものがなかなか撮れなくて、「しかたがないなあ」と繰り返します。微妙な感情の表現に触れてもらえればと思います。
第6話 「みじかい」	「形容詞」をテーマとしたお話です。全部で10の形容詞が、各話のテーマとして設定されています。形容詞の習得を進めるには、その言葉に付随するムードの把握が必要です。残念さや窮屈さ、怖さ、などのムードを、背景となる文脈から感じてもらえればと思います。
第7話 「たまごくん」	たまごに顔を描いたら、おしゃべりをはじめた、というファンタジーです。たまごくんの、かわいいうような、ちょっとわがままなようなキャラクターを楽しんでもらえればと思います。かなりシニールな設定を、子どもがどんなふうに感じてくれるのか、とても興味があります。
第8話 「くらべてみよう」	同じカテゴリーに含まれる、ふたつの事物を比較するお話です。ふたつの事物の共通点と、相違点が対比的に説明されています。同様の形式で、さまざまな事物を比較する文章を作ってもらうこともできると思います。
第9話 「子犬のコロ」	いなくなってしまった子犬を、探しに行くお話です。子どもにとって経験することの多いテーマかと思います。ゆりという女の子の、心の変化が描かれており、だんだんと不安がつってくる気持ちや、最後のうれしくてたまらない気持ちを感じてもらえればと思います。
第10話 「どんぐりデパート」	男の子が、野原の中のふしぎなデパートに行くお話です。文章はやや長いですが、繰り返しの多い内容なので、解答しやすい問題だと思っています。大好きな絵本「けんちゃんとおねはかせ」に登場する“どんぐりキャラメル”も出てきます。